

平成24年度 市政懇談会(口之津・加津佐地区)会議録

- 期 日 : 平成24年5月23日(水)19時30分～21時30分
- 場 所 : 加津佐青年・婦人会館
- 出席者数 : 51人

質疑内容	回答	回答者
<p>小学校の統廃合の進捗状況、その後の跡地の利用についてどうお考えですか？</p>	<p>昨年度の終わりに、今までの分をまとめ、小学校の統廃合に関する骨子案をつくり、各地区に説明に回りました。既に統合している口之津、北有馬の小学校で統合の時にどういふような意見をもっていらっしゃって、現在どういふ意見をお持ちなのかアンケートしてくれという意見が多かったので、実施し、その結果をお知らせしました。次の段階に入っています。加津佐は野田小学校からご意見が多かったので、地区の保護者、地域の方に説明しました。今年は野田小のPTA総会で現在の状況をお話してきたところです。賛成・反対が半分ずつくらいかなという感じで、強引に進めたくないし、地域を二つに分けてしまつて、地域を割るようなことも出来かねています。今からいろいろなお相談をしていかなければいけません。山口、津波見小は早くしてほしいという意見をいただいています。バランスをどうするか、いろいろ検討し考えています。</p>	<p>教育長</p>
<p>口加高校の中高一貫教育の検討をされてみてはどうでしょうか。今から島原半島の進学校を残す方向で検討をお願いします。</p>	<p>島原地区の子どもたちは、減っていく状況です。南島原市内にある口加高校、翔南高校は大幅に定員を割っています。島原高校はやっと定員を確保している状況です。島原半島はまだまだ学校が多すぎる意識があるようです。中高一貫教育、五島、奈留、大崎高校等ではじめていますが、学校同士が近くないとなかなか難しい状況です。県と話をしていかなければいけない時がくるのかなと思います。</p>	<p>教育長</p>
<p>道路の整備事業についてです。要望書をもっていきました。あまりにも加津佐の市道が傷んでいます。合併前にしなければいけなかったかもしれませんが、要望書を持って行きますが、加津佐はいっぱいあるんですよといわれず。要望書を持っていった後に、一回とも見に行らっしゃらない。いつごろ検討していただけるのかわからないので、不親切だと思います。要望書提出後、現場を見ていただければと思います。</p>	<p>加津佐につきましては旧町時代からの要望が多く、13路線、維持補修を含めると相当な数です。21年から23年については、国の経済対策として約9億道路維持に予算をいただき、対応させていただいています。どうしても数が多く、一つひとつの要望に対して対応、回答が不十分であり反省しています。できる、できないものがあるかと思しますので、今の状況を説明していきます。</p>	<p>建設部長</p>
<p>加津佐B&Gの駐車場は少し狭く、そこに行く道はより狭い状況です。宮原名の人たちで今までその生活道路の草刈り等の整備をしていましたが、できませんと行政でお願いできないか要望書を出していました。環境月間までできないかなと思っていましたが、早々に取り組んでいただいて、ありがとうございます。駐車場に行く道が狭いため、道を拡幅してほしい。</p>	<p>B&Gについては、土地の問題、相手がいらっしゃるので検討していきます。</p> <p>【後日対応】 6月21日建設課職員等と自治会長ら立会いのもと、現場確認。要望書を提出していただくよう依頼し、了承を受けた。</p>	<p>建設部長</p>
<p>上水道についてです。南有馬のごみ処理場の近くからの水を他町にまわす。鉄分がひどいのを、飲料水として問題ないのですか。上水道説明会のときには、問題有りませんとおっしゃいました。不信があります。私は10日に1回、島原の湧き水を汲みに行っています。多くの加津佐、口之津の人たちが汲みに行っています。飲料水に対して不安があると思います。</p>	<p>鉄マンガンは、西有家地区から加津佐地区の地下水ではほぼ出ます。処理方式は急速濾過機というので除去します。特別ではなく、水道事業では一般的なる過方式です。厚生省で水質基準が定められ、マンガン0.05ミリグラム/リットル以下です。水質基準は厳しいです。今やっている水質基準は毎日、毎月、3カ月、一年検査をしています。厚生省が指定した委託機関に検査委託しています。本基準を超えた場合は、委託機関から役所に連絡があるの同時に、県・保健所に直接連絡が行くようになります。飲まれても全く問題ありません。</p>	<p>水道部長</p>
<p>ジオパーク国際会議は大成功だったと思います。口之津早崎の浜地区に、マイクロバスで観光客がいらっしゃっています。公設のトイレがありません。ちょっと離れたところに公民館があり、そこまで行っていると聞きました。トイレをつくってもらえないでしょうか。ジオパーク関係でお客さんは増えると思います。魚の釣り場などもあり、トイレをつくる検討をしてください。後の管理もあるので、自治会にまる投げでなく、行政で管理してください。何とか仮設ではなく、ちゃんとしたものの設置をお願いします。</p>	<p>これまではジオガイドの方が同行されるときは、近くの公民館のトイレをお願いしています。時間が掛かるので、トイレにつきましては、仮設トイレが設置できないか検討させていただきます。</p>	<p>企画振興部長</p>

質疑内容	回答	回答者
<p>トイレの件は、3年前に当時の地区の自治会長といろいろ話をしました。最終的に誰が掃除をするかになります。ボランティアでは、誰もしてくれません。地域にお願いする場合は、よその人が言うべきではありません。早崎の浜地区の人たちをお願いすることから始まると思います。早崎は水洗トイレができています。</p> <p>島鉄に対しての願いです。天草、熊本に行くときに島原、有明港の航路を利用すればわかりますが、運賃割引があります。口之津～鬼池に行く口之津フェリーは全くありません。壱岐や五島の路線は、県国から補助してもらい、運賃を下げる方向にあるようです。</p>	<p>島鉄フェリーの運賃の割引については、島原鉄道と会う機会があるので繋ぎます。</p>	<p>企画振興部長</p>
<p>早崎循環のバスについては、バスにどれくらい乗っているか見えています。5人乗っていた記憶がありません。島鉄の経営もあると思いますが、大きなバスではなく、車ではハイエースでいいのではと思います。バスの噴煙がすごい状況です。地域の人たちは見えています。</p>	<p>島原鉄道に話をしたら、ワゴン車を買う経費よりも、今あるバスで運行した方が経費的に安く済むと回答をいただいています。</p>	<p>企画振興部長</p>
<p>大震災について南三陸町に義援金、職員派遣、市議会の研修で現地を視察されていますが、期待した住民への安全のフィードバックが残念ながらありません。市民の安全な生活に対してどう答えるのですか。義援金を渡すだけでなく、安心できる生活に、どうして視点がいかないのか非常に疑問に思っています。震災直後に、私が住んでいる地区が標高何mなのか支所に調べに行きました。一年経って、地図に避難場所を明示して標高10m20m赤線書いて、早崎地区、大屋地区の避難所はこと、各戸に配るべきではないでしょうか。地図は存在していました。そこで止まってしまっています。安心できる生活を施策として何が出来るか市役所、市議会は真剣に考えてほしい。一日も早く安心感を与える、避難所、訓練も必要で、高齢者を世話しなければいけません。避難する場所すら明示されていないので非常に疑問に思っています。</p>	<p>当然、今回の震災の教訓として、今後の災害等についての対応に万全を尽くしていかなければなりません。津波が起きた場合の標高の表示、はたして自分たちがいる場所は標高何mの場所にあるのか。避難場所等の問題。その後、私たちの防災計画の見直しをやっています。標高等の表示につきましては、各自治会長に図面を提供した程度で進んでいない状況です。自治会長会議でも指摘があり、相手があることですので協議していかなければいけません。九州電力の電柱に表示をしていく計画です。防災計画は、県と連動した計画でなければいけません。原発が起こり、手間取っているのが現状です。災害派遣については、行ってきた職員が勉強してくる目的もあります。配慮ができていない面については、皆さんにお詫び申し上げます。</p>	<p>市長</p>
<p>2年前の市政懇談会で市長から市民目線の職員を養成すると強い決意を聞きました。しかし、その後3件の懲戒解雇が起こっています。2009年以降県の教職員の事件発生率よりはるかに高い数字です。市HPに、NHKで居眠りしていた職員がいたと投書がでていました。あのような悪態を見せられたんでは、市民を馬鹿にしている、税金を納める価値がないです。まちがってませんか？市長さん。人事課の回答は、危機感を持って臨んだ研修でしたが、このようなことになり、大変残念でなりません。モラルが低下している。市の実態がかわっていない気がして納得できません。居眠りの職員は、けじめをつけるべく指導をされたのですか。次に重大事件が発生した場合は納税者の立場からして、会議しても駄目、重大な処罰、市役所全職員が一律給与カットを表明してもらいたい。自覚がない市役所職員は存在してほしいありません。当該の上司と職員との緊張関係、ある程度やらないと、ぬるま湯的な感じで終わったら。モラルの低下を繰り返します。びしっとけじめをつける習慣をしないと駄目です。市長が4度も、5度も市長が二度としないとっていますが、笑い事ではありません。</p>	<p>①市の職員の不祥事は、情けなく、気の毒でなりません。申し訳ありません。再発防止の研修会で居眠りしていた、私も後で知りました。全く職員として人間として、開いた口がふさがりません。その後の定期的に行なっている会合でその都度言っています。本当に申し訳ございません。職員の給与の一律カットという話がありました。住民の皆さんから思われる気持ちはそのとおりだと思います。できる範囲があり、処分の内容が決まった後、3月に管理職につきましては、手当てのカットをした訳です。担当部局、担当課だけの責任ではないとのこと、全員お詫びの思いを込めてしたところです。その矢先に今度の事件が生じました。今回の市政懇談会ではどの場所でも指摘を受けました。処分のやり方について、法の範囲内で最大限の処分をしていかなければいけないと、処分の見直しを検討しなければいけません。とにかく、処分をする前に絶対起こさないと肝に銘じ、ご指導、お叱り申し出てください。</p> <p>②合併当初19年度の事業で、防災マップを旧町単位でつくり各世帯に配布しています。活用が十分ではありませんでした。いろいろな災害に対して情報がかわってきているので検討していきます。海拔の表示は公共施設、九電の電柱に表示する計画です。今年度の事業は自主防災の訓練に対する補助金を出して、自治会単位で身近なところで自主防災意識を高めてもらいます。自治会長会議時に説明しました。全体的な市の防災訓練として、昨年口加地区で計画しましたが、2回とも雨のためできませんでした。今年は口加地区と、もう一カ所の2カ所で計画しています。防災のシステムとして、兵庫県の西宮市で開発されたシステムを導入します。避難場所、非難される人の把握、家屋等の罹災証明を発行するシステムを導入します。</p> <p>職員の担当部局長に対してはやっておりません。毎月、部長・支所長会議を開催しており、そういうことがあったと職員の指導をするようにしています。十分徹底されていない状況で、起ってしまいました。今後もその取り組みを強化していきます。</p>	<p>①市長 ②総務部長</p>

質疑内容	回答	回答者
<p>高田副市長には期待しています。市の活性化のため、どのような取り組みをしているのかわかりやすく教えてください。</p>	<p>ようやく一年が過ぎました。私は来る前から考えていたのは、南島原市になってからの一体的な情報の発信についてです。農産物、水産物、歴史、そうめん、たくさん素晴らしい資産があるのをほとんど日本中、長崎県の人もご存じではありません。広報のあり方、メディアとどうやって繋がっていくのかと、情報の発信に一番気をつけてやっています。特に、口之津開港450年が一つのバネになりNHK、新聞各社、テレビ民法に各社興味持ってもらっています。NHKBSジャパンで「いなかの」ごちそう」という番組を2週連続で放送されました。小さな仕事ですが南島原市に注目をさせていただいています。特に、直近ではキリシタン大名サミットを企画し、有馬藩の南島原市がその当時もつとも力をもっていました。大村藩にも自分の子どもを送り出して大村純忠、天正遣欧少年使節も本家だと今明らかにする努力をしています。平成遣欧少年使節をヨーロッパに派遣します。ポルトガルと関係結んでなかったのが、大使に来ていただいて、ポルトガル本国も興味を持っています。国際的な広がりこのまちはもっていると、何とかしていきたいと考えています。実務的には有馬商業跡地、口之津港の改修、加津佐前浜海水浴場計画、いずれも市として外から見て、市民がこういうのがほしかったということ、今後実現に向け進んでいます。有馬商業跡地については、ほぼ絞り込みました。県も口之津港の重要性を理解してきたと思います。ここにセミナリヨをつくらせたヴァリニャーノはイタリアの人で、彼が生まれたイタリアのまちのキエーティが姉妹都市になりたい、ヴァリニャーノ神父の銅像を港付近に寄贈したいと声を掛けてもらっています。一番目標にしているのは世界遺産登録です。市が一体になって市民の皆さんと進めていく事業です。情報力がないと忘れられてしまいます。今一生懸命情報を出しています。産業については、企業誘致ということで、東京駐在において、実情を見ています。投資をしたいと思わせる環境が整っていませんので、知名度を上げることによって興味を持ってもらう。特に自然環境の素晴らしさについてIT産業が来るだけでなく、保養施設として、うつ病が仕事で多いそうで、この山海、この産品をもとに精神的に豊かな東京で生まれた中でこっちで仕事をする。農産物については長崎県でナンバー1ということを知っている人が少ない状況です。JR九州の社長に会いました。南島原市にあんまり興味がなく、意識を変えていただきたいと伝えました。3000億売り上げ、1500億が鉄道以外です。特に農業に力を入れており、大分県でニラ、熊本でミニトマトの産業に取り組んでいます。何とか市を売り出そうとやっています。</p>	<p>高田副市長</p>
<p>私は聴覚障害で、中度難聴者です。市の広報紙を見て感じたことから話します。市職員として、障害が目で見えて、わかる車椅子に乗られる方がいいのですね。私は南有馬衛生センターの面接を受けたことがあります。耳が聞こえなくて連絡がとれないと言われ、仕事をさせてもらえませんでした。やる気だけは十分あったのに、そういう理由で言われるのは少し辛いです。もう少し関心を持っていただければと思います。本日、ここで市長をはじめ、各部署の幹部と話ができる機会を持てたのは、後ろにいらっしやる要約筆記会の活動のおかげです。中度の障害者というのは、普通にコミュニケーションとってきた人生から耳から音声の情報が入らないという人生になってしまいます。口だけは聞けるので、知らない人から見れば、嘘ではないかと言われたこともあります。私はようやく筆記会等でコミュニケーションを確保することができるようになり、講演会等に少しずつですが、知的好奇心を持つようになり出かけるようになりました。今まで知らなかった情報を知りえるということで、とても嬉しいです。だけど、中度の難聴とは、会場にいらっしやる人たちが人生の途中で病気になる、何らかの事故で今後聞こえなくなることが十分考えられます。市長が市民が元気というテーマをあげていました。私たち難聴者は文字通り、文字でしか情報を知りえることができません。要約筆記会の知名度を上げてもらうなり、支援をお願いしたい。昨日も手話教室に手話を習いに出かけました。28人という人数で学習されています。要約筆記会には南島原市からは参加者がいないと聞いています。同じ市民なのに聴覚障害者にはほとんど興味が関心がないのかという感じを受けました。だから、市民が元気になる、私も含め聴覚障害者もぜひ参加したいです。だけど耳で聞くことができない以上、支援、宣伝そういうことをしてもらいたいです。</p>	<p>出席してもらい、ご意見ありがとうございました。市としても当然として、障害をお持ちの方も健常者と普通の生活ができるように努力をしていますが、障害をお持ちの方からすれば十分でないことはわかっています。指摘がありましたように、市民の皆さんが主役で元気であるまちづくりをという思いを持ち続けていますが、十分でないことにお詫び申し上げます。これからも、障害をお持ちの方が健常者と同じような生活をまちづくり、環境づくりを目指して頑張ってまいります。</p>	<p>市長</p>

質疑内容	回答	回答者
<p>5年前に陳情した道路が、予算をとってもらい、先日現地説明があり、みんな喜んでます。用地交渉等スムーズに行くように全面的に協力していきます。張り切っています。一日も早い完成をよろしく願います。</p> <p>農援隊について、3年間の試験期間をすぎ、県からの支援がなくなり、縮小され、現場は困っています。若い元気な応援があるために、年取った人も助かったと大変喜んでいました。県の対応がなくなったために、縮小され順番が回ってこず、困っています。先日、農協の南部基幹センターに情報収集に行ったら、南目の地域はじゃがいも、たまねぎが中心のため、夏場の仕事がない時期にその人たちをどうするかと難しい問題があることがわかりました。現場の農家は、いい条件でを続けてくれとはいいません。負担はします。金よりも人が欲しい。市は現場作業員として、いろいろな人を雇って、夏場の仕事がない時期に市の仕事でカバーできないのでしょうか。知恵を絞って、人手不足で困っていることを認識してもらいたいです。農協あたりと一緒に頑張ってほしい。</p>	<p>ご指摘のとおり3年間ということで終わっています。農協が主体で、市の助成ということで続けています。今後も市としては一部補助で進めていかざるをえないと考えています。</p> <p>補足：H24より、JA島原雲仙が運営主体となって、新たな地域労力支援システム（農援隊）が稼働しております。このシステムは、県等の補助金を活用し、3年後に自立したシステムを目指し、夏場の新規品目導入実証等を行いながら、県・半島3市・JA等関係機関で協議を行い島原地域雇用労力支援協議会も設立したところです。</p> <p>市といたしましても、農援隊利用者への一部助成やシステムの運営に対する補助等を検討し、農家の皆様の労働力不足解消のため、システムの継続的運営に協力しているところです。</p>	農林水産部長
<p>不祥事について、一口で言えば市の職員はたるんでいると思います。市長が頭を下げ、研修し、二度と二度とやっているが、今のままでは直らないと思います。総務部長、市職員の立場から二度と不祥事は起こせんと誓約書を書いて、反した場合は覚悟の程を見せて欲しいと思います。市長が記者会見で頭を下げ、職員に訓示をしても、劇的な効果は期待できないと思います。市の職員が一人ひとり署名し、覚悟の程を見せて欲しいです。</p>	<p>3月の贈収賄のときに不祥事再発防止委員会を設けましたが、こういう事件が発生し、見直しているところです。貴重なご意見として、検討していきます。</p>	総務部長
<p>かつさふれあい公園（津吹湖）の雑草が、背丈ほどに伸びています。利用者が多いです。いつ雑草を刈られるのですか。年に何回されるのか、教えてください。せっかくの公園ですので綺麗にしてください。</p>	<p>今年は6月に実施予定です。状況次第で、2～3回の除草をしていくように考えています。津吹湖につきましては、街灯が切れていたのので、半分対応しました。今後、全部付くようにしていきます。</p>	建設部長
<p>合併前、加津佐観光問題について質問です。合併し、県営バスがストップ、島鉄がストップし公共交通をどうしていくのですか。</p>	<p>島鉄が廃線になり、島鉄バスのみになり交通の面で不便を掛けています。島鉄バスが、結構運行しています。それに対して市から赤字路線に対して支援しています。この交通の便が不便になったというだけでなく、沿線の皆さんに大変ご迷惑を掛けています。草が伸びたり、竹やぶになっている、何とかしてくれと市に要望があっています。島鉄の財産ですが、南島原市全地域を一本につなげた貴重な財産です。近いうちに活用する方法を生み出せないものかと、協議を重ねていかなければなりません。加津佐、口之津地区の皆さんにつきましては、バス路線で我慢していただいています。道路問題ですが、高規格道路の整備は、中央に出て行く交通アクセスが、南島原市の一番課題です。町時代からしています。とにかく、市内の道路だけでも整備しようという思いでやっています。</p>	市長
<p>企業誘致ということですが、地場産業が弱いため若者が出ていってしまっています。黙って放置しては、市の将来はなく、過疎地になってしまうと危惧しています。有家の堂崎の埋め立て地に、火力発電所を誘致したらどうでしょうか。もし、進出できるようなことがあれば、関連企業が誘致でき、相当の職域が広がるのではと思います。人も入ってくると思います。</p>	<p>火力発電所については、私もそう思いますが、堂崎の埋め立てにつきましては、雲仙普賢岳の土石流対策としての用地です。私も県・復興事務所に対して、早めに埋め立てできないのかとお尋ねしましたがそれはできませんとの回答でした。雲仙普賢岳の頭にドームのような溶岩が一億㎡あり、地震や大雨等があったら流れ落ちる可能性があります。流れ落ちた場合の被害の大きさの予測が新聞に載りました。埋め立ては私たちが思うような要望ができません。</p>	市長